

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

**組立・施工の前に…**  
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。  
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。  
**組立・施工の後…**  
取扱説明書をお客様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明図中の部品には、< >で同相先を表示しています。

## チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している「**チェックマーク**」の確認をしてください。

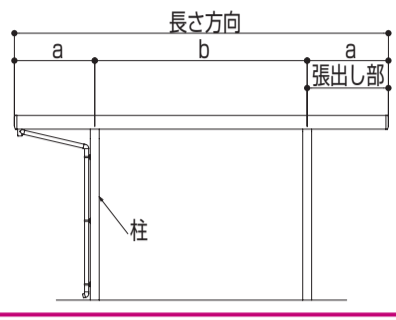
項目	チェック欄
1 基礎寸法	
2 シーリング	
3 柱の間隔・垂木・屋根の直角・後枠の水勾配	
4 側枠・垂木取付ねじの締付け	
5 柱の水抜き穴	
6 屋根材のみ込み	
7 屋根材押えの押しあて	
8 屋根材押え取付ねじの締付け	

**注意**

- このカーポートは積雪20cm地幅用(積載荷重600N/m<sup>2</sup>(61.2kg/m<sup>2</sup>))です。積雪量が20cmを超える前に雪を落とすことを施工主に確認してください。商品が破損するおそれがあります。
- 雪おろしの目安は、積雪1cm当たり30N/m<sup>2</sup>で計算しています。湿った雪の場合等は、1cm当たりの重さがさらに大きくなる場合がありますので、早めに雪おろしを行ってください。
- 風の強い場所では、補助柱(オプション)を取付けてください。
- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
- 屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4~7日の養生期間が必要です。
- 脚立を使用する際は、天板の上に乗ること、またかごと、座ることが禁止されています。脚立は、脚立メーカー発行の取扱説明書をお読みの上、ご使用ください。


**注意**

長さ方向出し崩れのみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。  
切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。



**シーリングは必ず実施してください!**

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。シーリングがされない、**漏水の原因**となります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。(別途手配品)



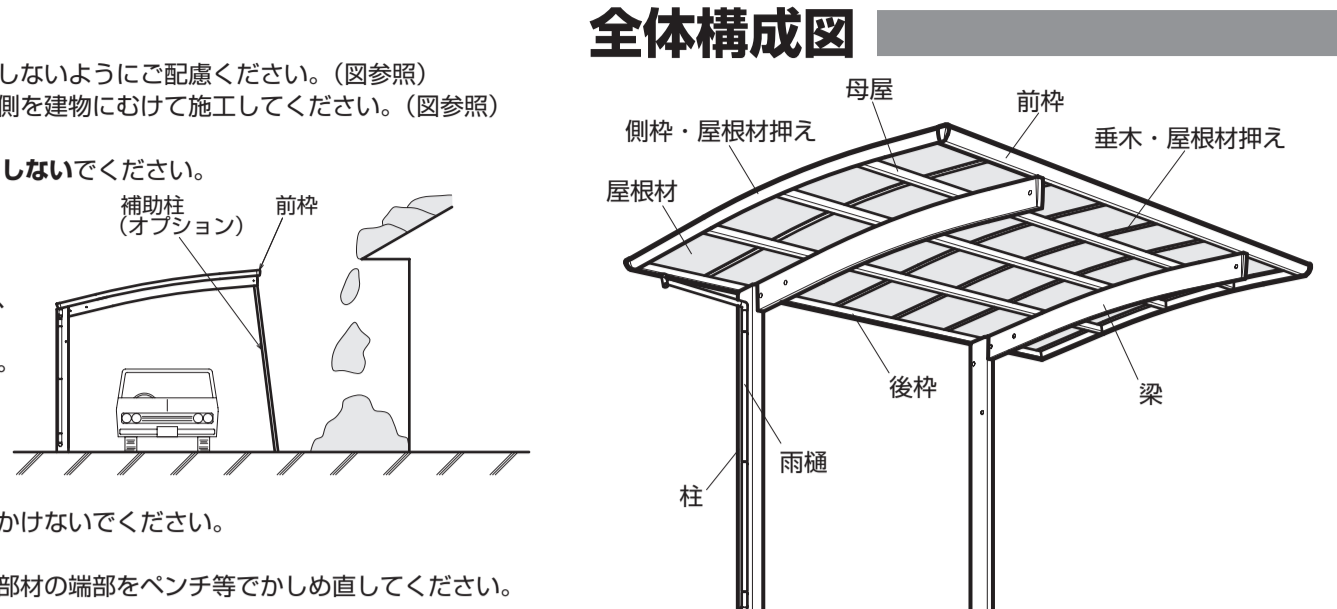
**合掌・連棟および延長セット施工時の注意**

サイズ違いの合掌・連棟および延長セットを施工する際は、柱・梁・ジョイント材を使い分ける場合がありますので、**注意ラベル**を必ず確認してください。  
(注意ラベルは柱・梁・ジョイント材に貼付けてあります。)

**お願い**

- 屋根からの落雪が予想される場合は、カーポートに直接落雪しないようにご確認ください。(図参照)
- カーポートの屋根が強風であらわれるのを防ぐために、前枠側を建物にむけて施工してください。(図参照)
- お天気に応じて必要なメンテナンス(冬場は凍結防止)や海砂を使用しないでください。
- 基礎コンクリートには**塩害防止剤(結晶剤等)や海砂を使用しないでください**。
- 柱の高さの原因となり、屋根面に異音の原因となる場合があります。
- 屋根面に異音の原因を発生させないでください。太陽光線からの反射により火災のおそれがあります。
- 凍結防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
- 組立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因となります。
- ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。製作範囲を超えると事故(人損、物損)の原因となります。
- カーポートの上に乗りあわないでください。カーポートにはしごをかけたままにしないでください。
- カーポートの破損だけでなく落下事故の原因となります。
- 部材を切詰めする際、水室材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をベンチ等でかきしめしてください。

**全体構成図**



**同梱一覧**

部品	数量
柱	2
たて連棟	1 (L=1950) 1 (L=1300)
呼び橋	2
K-34805	2
K-34805	2

部品	数量
側枠	2
屋根材押え	2
バックリ	2
前枠キャップ	2
後枠キャップ	2
ドレン	2
穴隠し	2

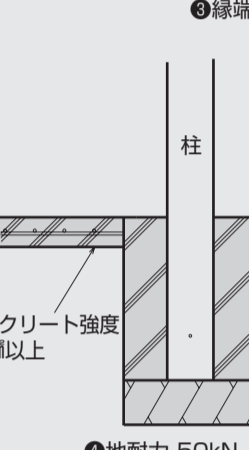
部品	数量
前枠	1
後枠	1
母屋	3

### 土間コンクリート考慮基礎条件

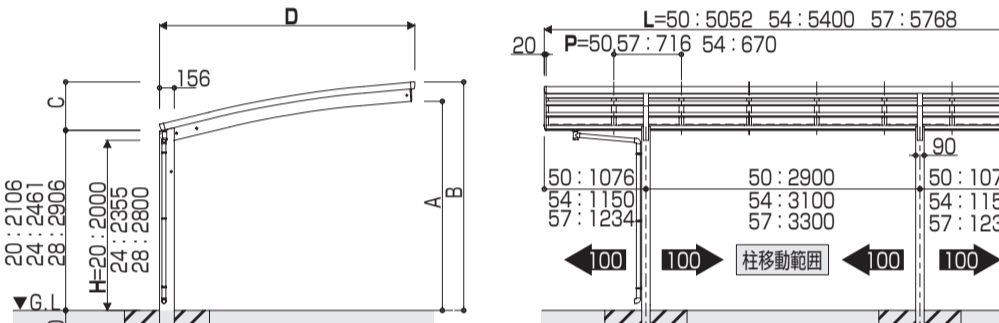
本基礎の場合は、下記各条件を満たしていることを確認してください。  
条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

**基礎条件**

- ①土間コンクリート厚 : 100mm以上、有筋
- ②土間コンクリート強度 : 18N / cm<sup>2</sup>以上
- ③縁端距離 : 200mm以上
- ④地耐力 : 50KN / m<sup>2</sup>以上



### 基本セット



呼称	D	H	A	B	C
D24	2400	2364	2569	-	462
D25	2550	2355	2743	2948	487
D27	2700	2000	2413	2618	511
D30	3000	2000	2462	2666	560

**お願い**

屋根の長さ方向に水勾配 2~4 mmをつけてください。雨樋側の柱高さを6~14mm低くすると、1000 mmの水勾配になります。  
逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因になります。

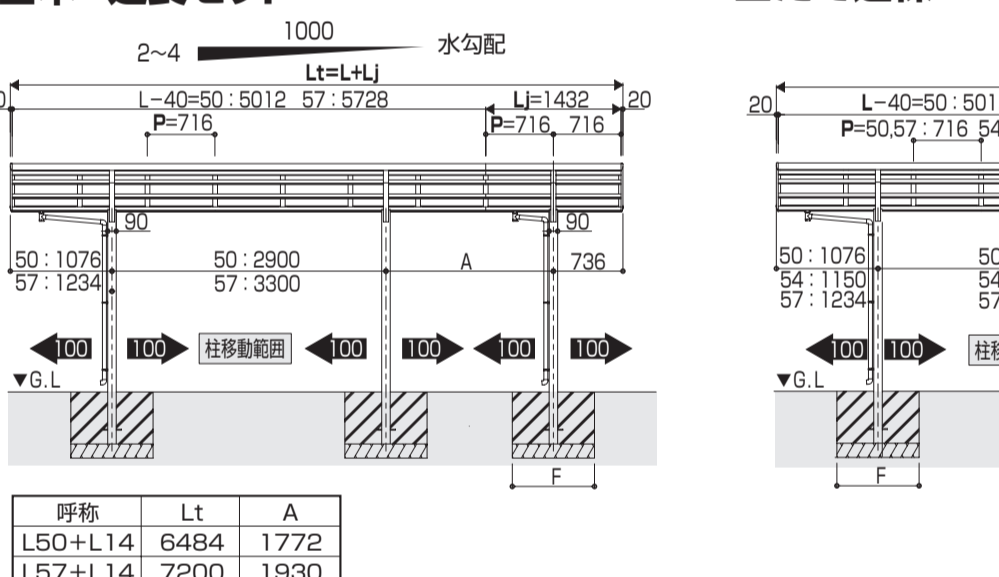
**土間コンクリート考慮基礎の場合**  
※採用条件については、**土間コンクリート考慮基礎条件**を参照

カーポートサイズ	5024・5025・5027・5424・5425・5724・延長セット全サイズ	5030・5427・5430・5725・5727・5730
基礎寸法	E F G E F G	E F G
	490 490 245 590 590 295	

**独立基礎の場合**

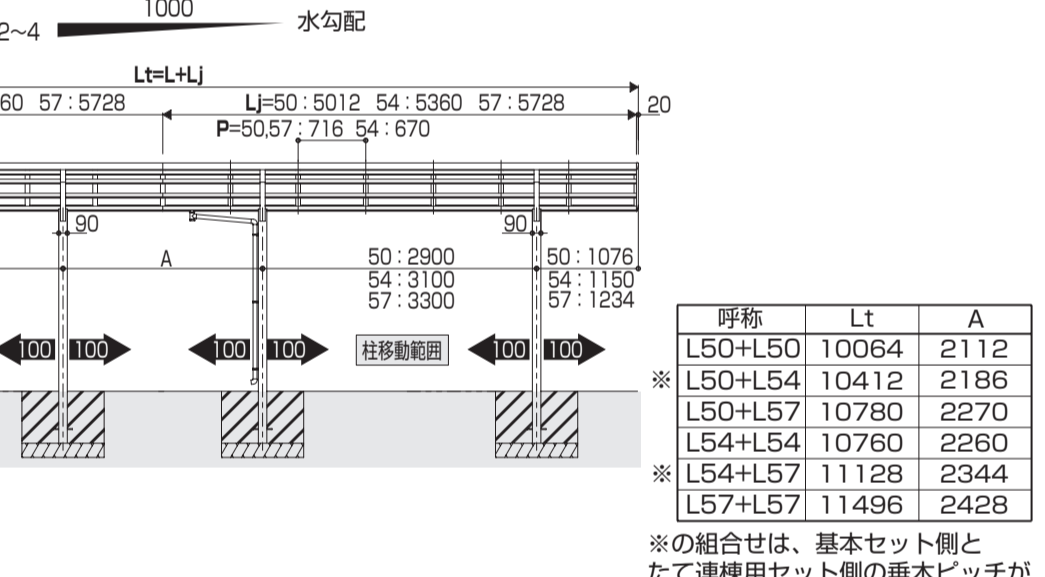
カーポートサイズ	5024・5025・5027・5424・5425・5724・延長セット全サイズ	5030・5427・5430・5725・5727・5730
基礎寸法	E F G E F G	E F G
	860 860 300 1000 1000 300	

### 基本+延長セット



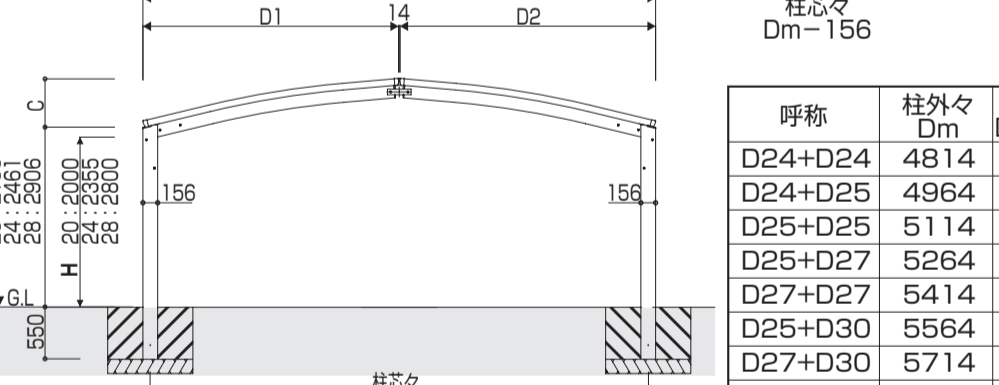
呼称	Lt	A
L50+L14	6484	1772
L57+L14	7200	1930

### たて連棟



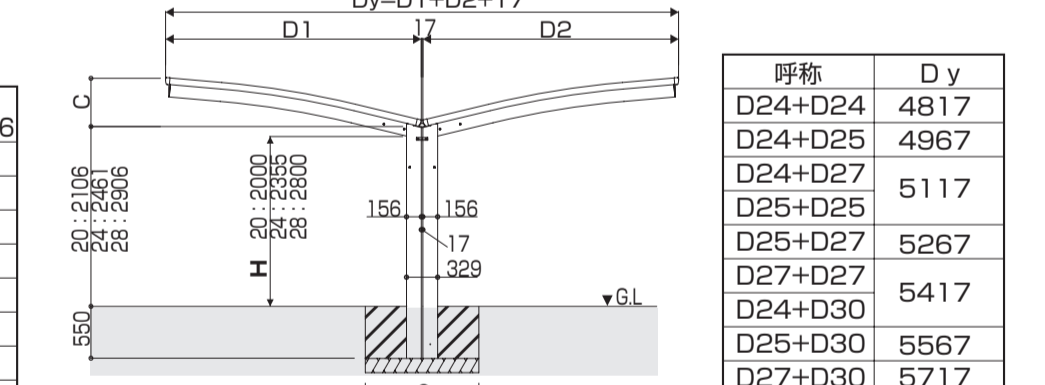
呼称	Lt	A
L50+L50	10064	2112
L50+L54	10412	2186
L50+L57	10760	2270
L54+L54	10760	2260
L54+L57	11128	2344
L57+L57	11496	2428

### 合掌



呼称	柱外々 Dm	柱芯々 Dm
D24+D24	4814	4658
D24+D25	4964	4808
D25+D25	5114	4958
D25+D27	5264	5108
D27+D27	5414	5258
D25+D30	5564	5408
D27+D30	5714	5558
D30+D30	6014	5858

### Y合掌



呼称	Dy
D24+D24	4817
D24+D25	4967
D24+D27	5117
D25+D25	5267
D27+D27	5417
D24+D30	5567
D27+D30	5717
D30+D30	6017

**●幅(D1・D2)違い合掌する場合**

呼称	方法①	方法②
D24+D25	D25側の柱を25mm深く埋込む	D25側の柱下端を25mm切断
D25+D27	D27側の柱を24mm深く埋込む	D27側の柱下端を24mm切断
D25+D30	D30側の柱を73mm深く埋込む	D30側の柱下端を73mm切断
D27+D30	D30側の柱を49mm深く埋込む	D30側の柱下端を49mm切断

**●土間コンクリート考慮基礎の場合**  
※採用条件については、**土間コンクリート考慮基礎条件**を参照

カーポートサイズ	全サイズ
基礎寸法G×F	700×700

**●独立基礎の場合**

カーポートサイズ	502424・502425・502427	502430・502530・502730	503030・572525・572527
基礎寸法G×F	1300×650	1300×700	1300×800

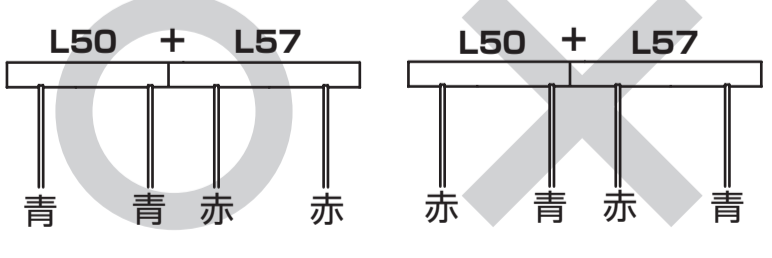
## 組立・施工要領

### 長さ違い連棟時の注意


カーポートサイズにより、柱・梁・ジョイント材の強度が違います。  
カーポートサイズに対応したラベルの色を確認して施工してください。(部材に色付ラベル有)間違えた組合せで施工すると、破損の原因となります。  
施工後、ラベルをはがしてください。

呼称	D24	D25	D27	D30
延長(L14)	青	青	青	青
L50	青	青	青	赤
L54	青	青	緑	赤
L57	青	緑	赤	赤

**例：たて連棟 D27 L50+L57 の場合**



1.基礎の施工 寸法図をご覧ください。  
2.柱の建込み・仮固定  
3.梁とジョイント材の組立  
4.梁の取付

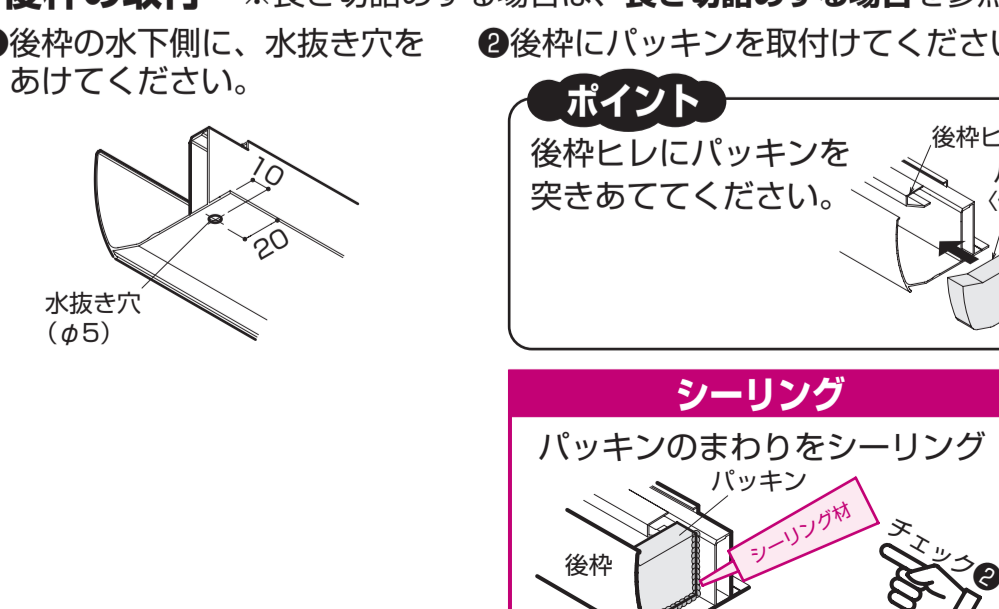


●地盤のゆるいところでは、さらに大きくしてください。  
●割栗石、砂利または砕石を敷き均し、突固めてください。  
●土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。  
●キス防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

### 5.後枠の取付

※長さ切詰めする場合は、**長さ切詰めする場合**を参照

- 後枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。
- 後枠にバックリを取付けてください。
- 後枠にドレン・穴隠しを取付けてください。




**ポイント**

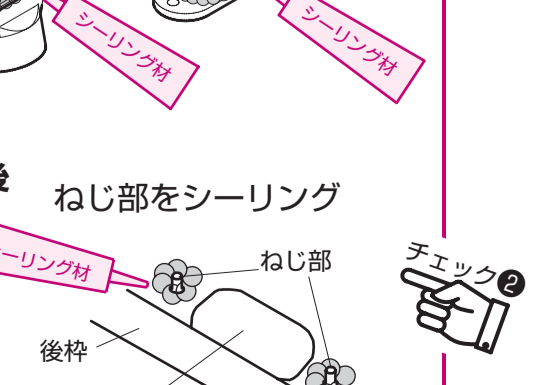
- 後枠ヒレにバックリを突きあててください。
- ドレンの向きに注意してください。

### シーリング

取付前 穴隠し



取付後 ねじ部をシーリング



●後枠を取付けてください。

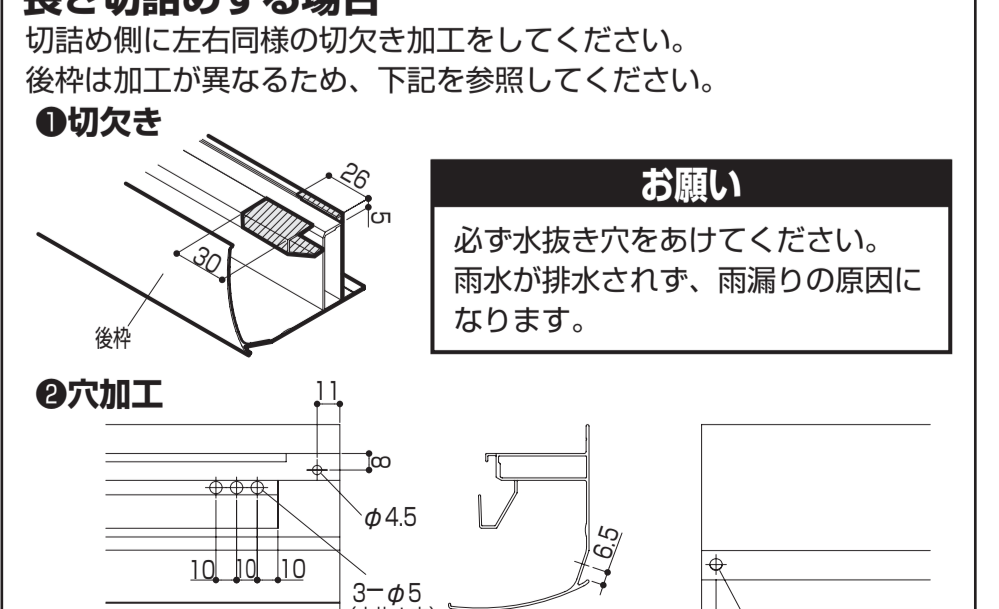
### 長さ切詰めする場合

切詰め側に左右同様の切欠き加工をしてください。後枠は加工が異なるため、下記を参照してください。

- 切欠き
- 穴加工

**お願い**

必ず水抜き穴をあけてください。雨水が排水されず、雨溜りの原因となります。





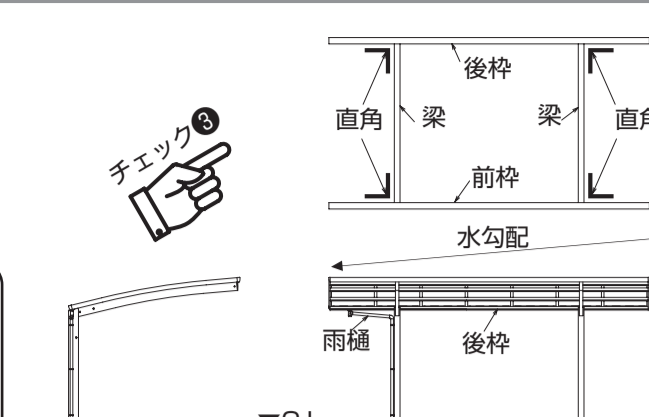
## 組立・施工要領

### 6. 前枠の取付



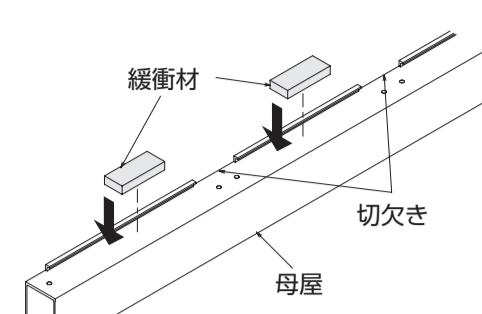
### 7. 寸法確認・調整

- ① 柱の間隔・垂直
  - ② 梁と後枠・梁と前枠の直角
  - ③ 後枠(長さ方向)の水勾配
  - ※ 雨樋取付側が水下側
- ポイント**  
寸法がでない場合は、部材を動かして調整してください。



### 8. 母屋の取付

緩衝材を母屋の切欠きと切欠きの中心部分に貼付け、母屋を取付けてください。



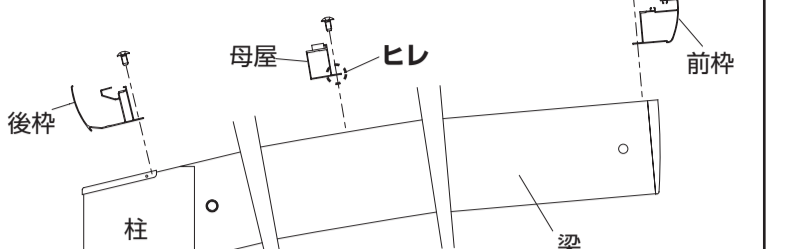
### ポイント

- 緩衝材を母屋のヒレに突き当てて貼付けてください。

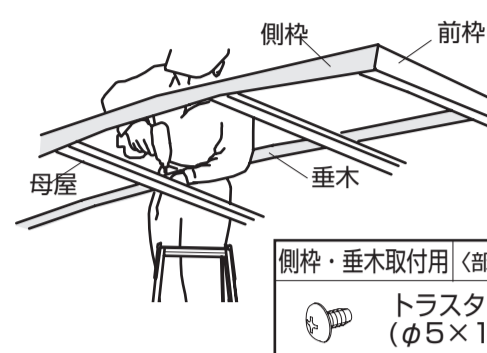


### ポイント

母屋のヒレを前枠側に向けてください。



### 9. 側枠・垂木の取付



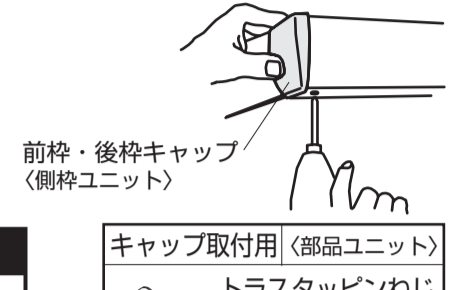
### ポイント

前枠側 → 後枠側 → 母屋部の順でねじ止めすると、穴位置が合わせやすくなります。

### お願い

ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。

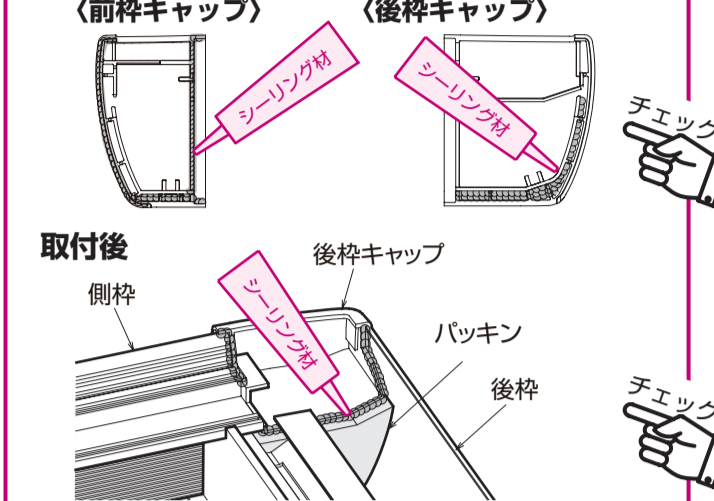
前枠・後枠キャップを取付けてください。



### お願い

キャップ取付用(部品ユニット) トラストピンねじ(φ5×10)

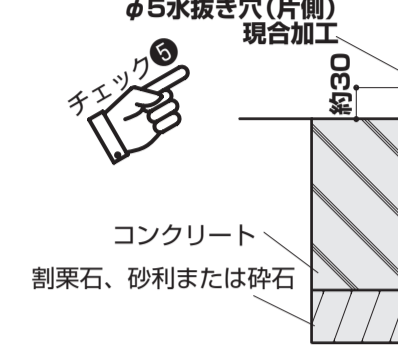
### シーリング



### 10. 本体の仮固定と柱・梁取付ボルトの本締め

- ① 再度寸法を確認してください。
- ② 柱・梁取付ボルトを本締めしてください。

### 11. 基礎コンクリートの打込み



### お願い

凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

### 注意

屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4~7日の養生期間が必要です。

### 12. 屋根材・屋根材押えの取付

取付前、屋根材の養生フィルムをはがしてください。



### ポイント

後枠の奥にあたるまで押込んでください。後枠側 差込み順 前枠側 差込み順

### お願い

屋根材のみ込みAが左右同じになるように調整してください。片方のみ込みが浅いと、耐荷重性能低下の原因となります。

### 屋根材押えの取付



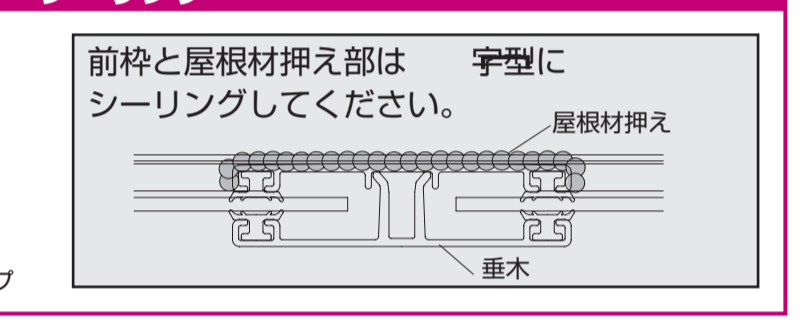
### ポイント

- 前枠に押しあてる
- ねじ止めは、前枠側から順に行う

### お願い

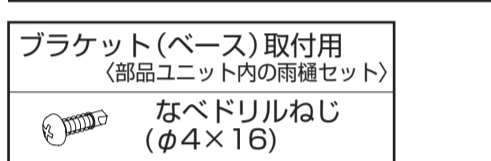
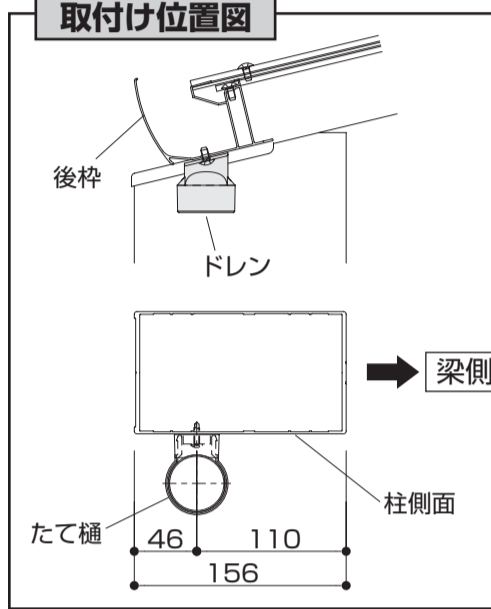
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。

### シーリング



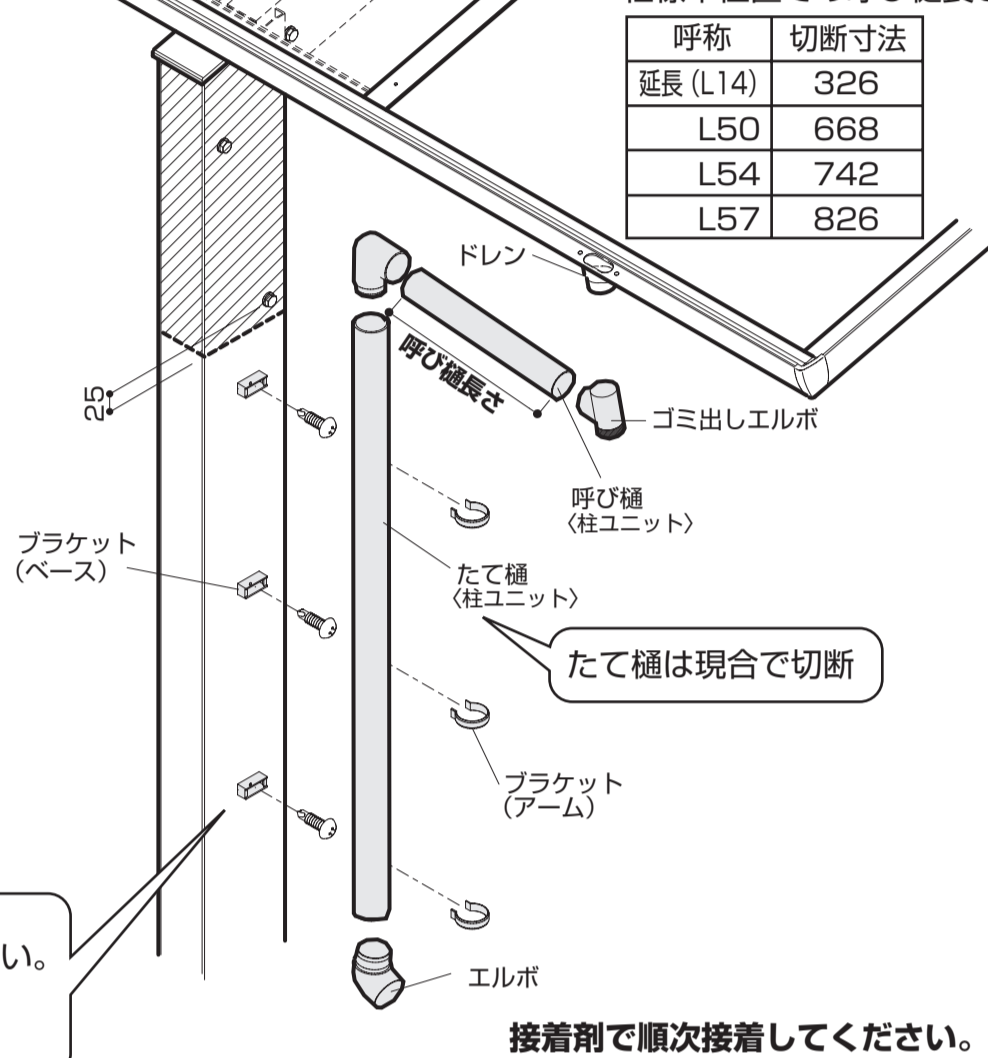
### 13. 雨樋の取付

(たて樋・呼び樋以外の部品(雨樋セット)は、部品ユニットに入っています。延長セットの雨樋セットは、延長セットの前後枠・母屋ユニットに入っています。)



### ポイント

- 以下の場合は、柱に下穴φ3.5をあけてください。
- 斜線部のジョイント材部分に取付ける場合
- H28柱(補強材)に取付ける場合



呼称	切断寸法
延長(L14)	326
L50	668
L54	742
L57	826

## たて連棟する場合

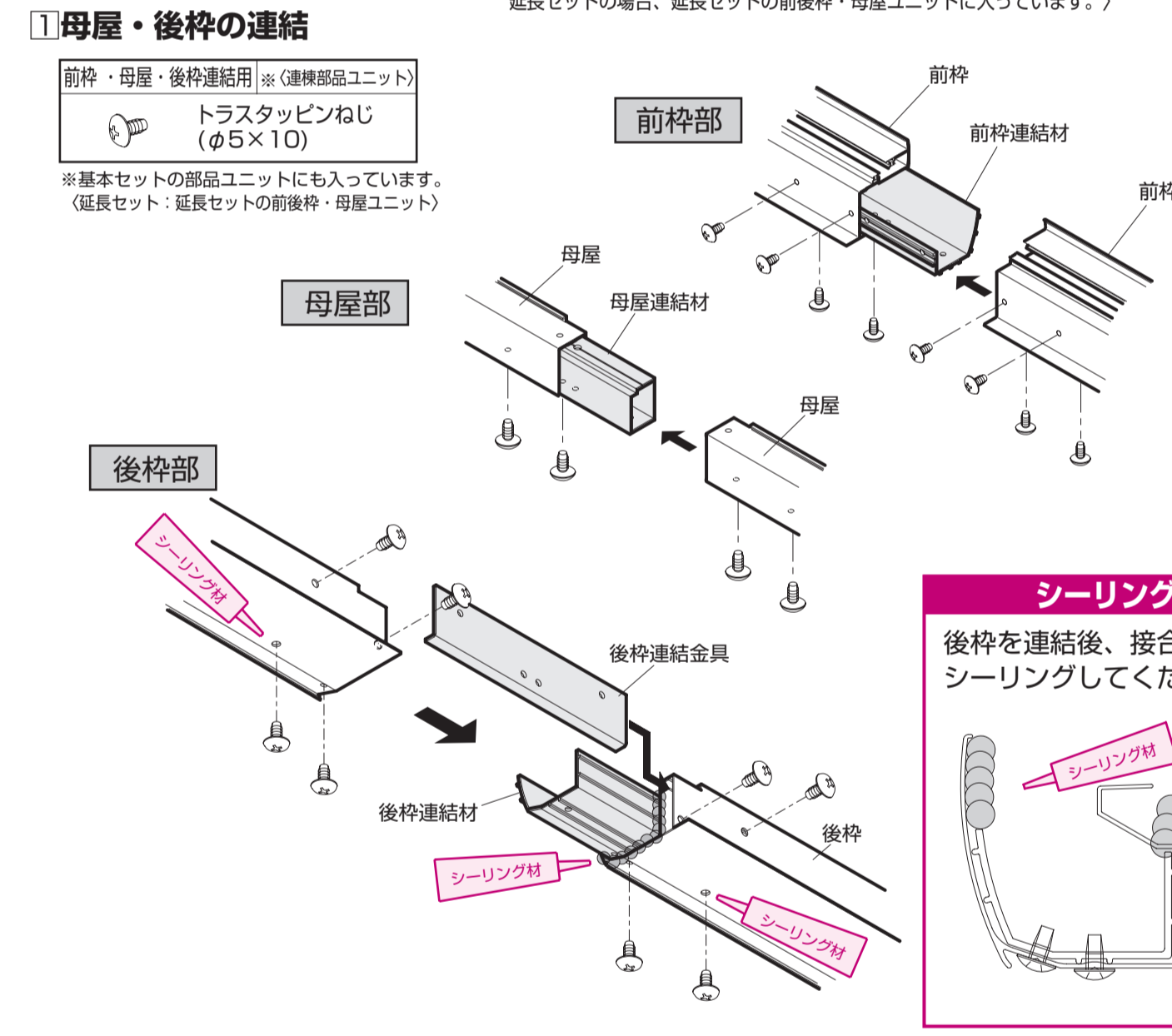
### 1. 部材の加工

前枠・後枠・母屋の連結部に穴加工(φ6)を行ってください。

部材	形材断面図	加工内容
前枠		φ6
		φ6
後枠		φ6
		φ6
母屋		φ6
		φ6

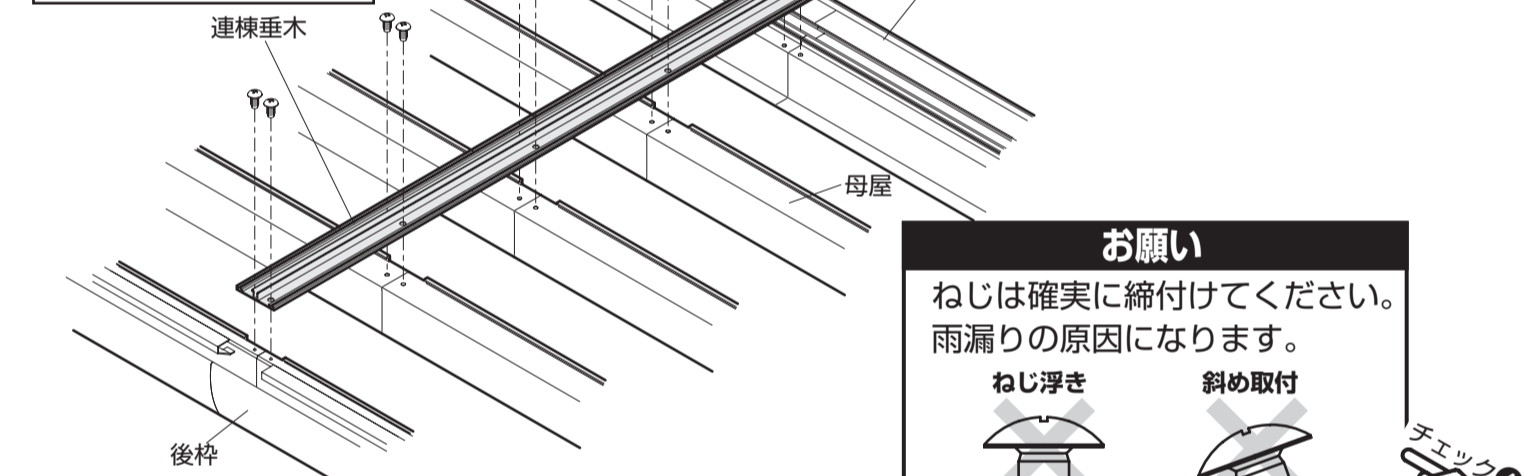
### 2. たて連棟する場合の組立

(部品は連棟部品ユニットに入っています。延長セットの場合、延長セットの前後枠・母屋ユニットに入っています。)



### 2. 連棟垂木の取付

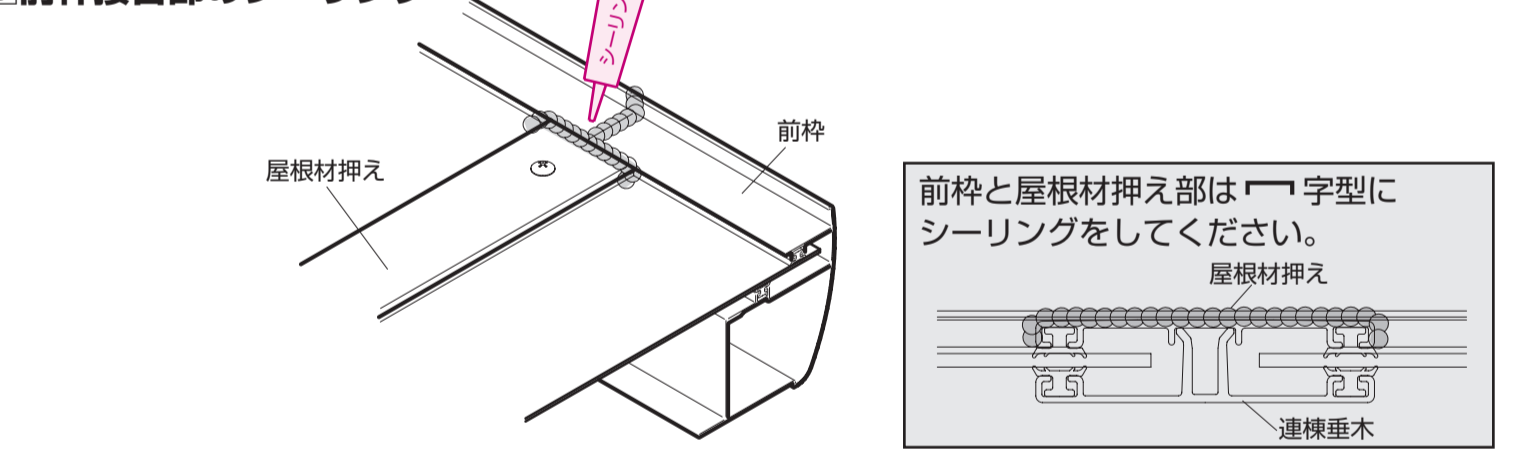
連棟垂木取付用(部品ユニット) トラストピンねじ(φ5×10)



### お願い

ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。

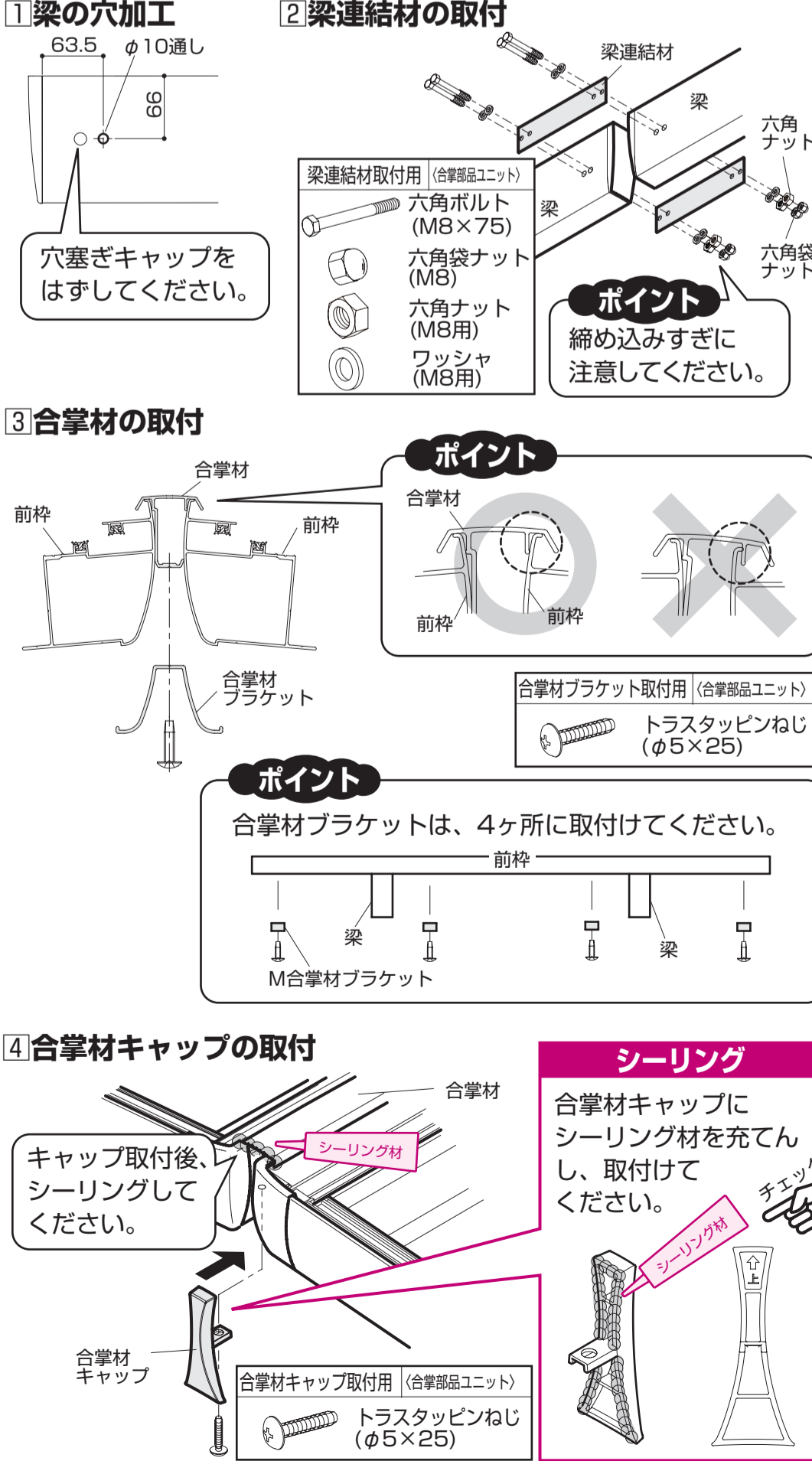
### 3. 前枠接合部のシーリング



前枠と屋根材押え部は「」字型にシーリングをしてください。

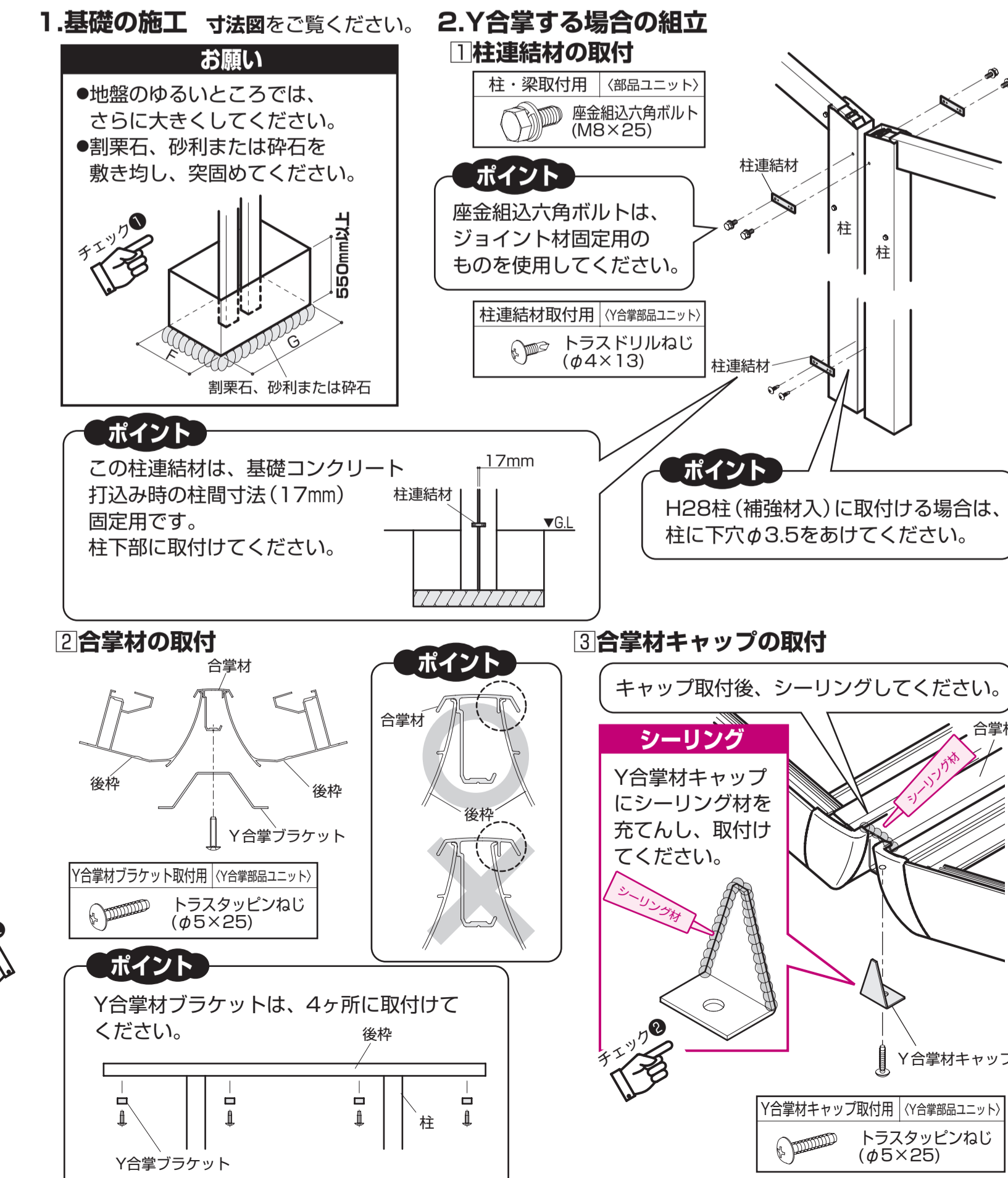
## 合掌する場合

(部品は全て合掌部品ユニットに入っています。)



## Y合掌する場合

(部品はY合掌部品ユニットに入っています。)



## 合掌(Y合掌) たて連棟する場合

